

## 平成28年度

### 原町第三中学校 学校図書館支援活動記録

学校図書館支援員 木幡美賀

#### 1 学校図書館の概要

##### 学校の紹介

読書好きな生徒を育てるために年間24冊以上を読書目標とし、毎朝10分間の読書活動、多読賞の表彰、家庭での読書の推進・啓蒙、市立図書館との連携・協力を推進している。

平成28年度生徒数

1年	2年	3年	合計
28名	27名	38名	93名

(平成28年12月末時点)

学校派遣日 木・金曜日 週2回

図書担当教員 半谷香織先生

学校図書館蔵書数(4月当初) 10,432点

学校図書館受入点数(3月末時点) 394点

うち 市費購入点数及び金額 211点(332,984円)

うち 寄贈資料点数 183点

#### 2 平成28年度の課題及び目標

1-1 課題 主に知識の本で適切でない分類ラベルや除籍候補の本が棚に並んでいる。

1-2 課題 生徒が図書室で本を読んだ後に別の棚に戻してしまう。また、目的の本にたどり着けない姿が見られる。

1-3 課題 授業等での図書資料の活用の向上。

1-4 課題 生徒の図書室利用の向上。

2-1 目標 知識の本の図書ラベルの見直し・付与とグリーンラベルへの統一を図る。

2-2 目標 本の貸出方法や図書室利用時のマナー、分類についての説明を行うとともに分かりやすい見出しを作成し、生徒自身で目的の場所へ本を探しに行けるようにする。

2-3 目標 授業内容と関係した本の展示や、授業等で使用する資料を提供できるということを周知するなど先生方との関わりを持つようにする。

2-4 目標 図書委員会と連携して図書室の本を借りたくなるような雰囲気作りや図書だよりの発行を行う。

#### 3 活動の方針

①昨年度に引き続き図書の整理を進め、生徒が本を手に取りやすい環境を整えていく。

②図書委員と連携しながら貸出しにつながる広報活動や企画展示の充実を図る。

③生徒たちが気軽に入ってこられるような親しみやすい場所を提供できるよう心がける。

#### 学校図書館年間活動計画（スケジュール）

月別	蔵書管理・図書活用・読書指導	生徒図書委員会活動内容	市立図書館との連携
4月	・予算検討と管理の確認 ・担当教諭との打合せ ・企画展示	・図書の貸出開始	・学校図書館支援員会議① ・図書の借用開始
5月	・企画展示 ・読書カードの配布 ・図書だより作成	・学級文庫入替	
6月	・企画展示 ・市費選書開始（前期）	・図書だより作成 ・学級文庫入替	・学校図書館支援員会議②
7月	・企画展示 ・市費発注・受入れ	・図書だより作成	・ライブラリーレター配布
8月			・学校図書館支援員会議③
9月	・企画展示	・学級文庫入替	
10月	・企画展示 ・市費選書開始（後期）	・学級文庫入替	
11月	・読書月間企画 ・新刊図書受入れ	・学級文庫入替	・学校図書館支援員会議④
12月	・企画展示	・図書だより作成	・ライブラリーレター配布
1月	・企画展示 ・おみくじ		・学校図書館支援員会議⑤
2月	・企画展示	・読書カード回収、集計 ・多読賞発表	・学校図書館支援員会議⑥
3月	・企画展示		

## 4 年間活動内容

### 1年間の主な活動記録

#### 年間を通しての業務

- ・図書のラベル付与、フィルムコート装備
- ・雑誌の受入、装備
- ・図書の廃棄作業
- ・書架整理
- ・季節の掲示物作成

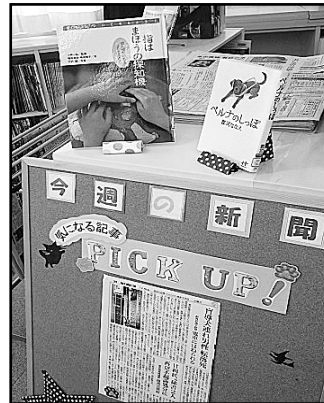
#### <平成28年度の購入雑誌一覧> 15誌

(継続)・子供の科学 ・News がわかる ・新聞ダイジェスト ・Cut ・ダ・ヴィンチ ・バンドジャーナル ・ディズニーファン ・近代柔道 ・バドミントンジャーナル ・ソフトテニス・マガジン ・剣道日本 ・ベースボールクリニック ・Number (新規)・きょうの料理ビギナーズ ・陸上競技マガジン
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<平成28年度の購入新聞> 朝日新聞 1紙



新聞ラックを購入した。委員会の仕事として、図書委員に新聞の装備をしてもらっている。



気になる記事を切り抜きし、関連本を展示した。

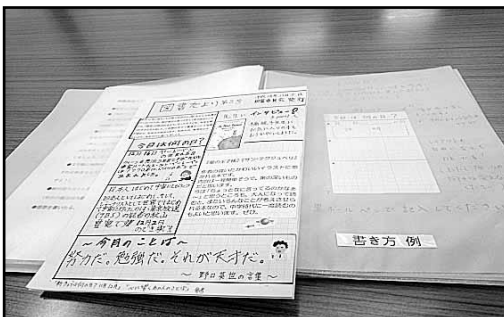
4月

- ・担当教諭との打ち合わせ
- ・図書室内にミニ書庫スペースを作成。



棚に配架されていた古い本や複本を除き、書庫に収めることで、棚に余裕ができた。

- ・企画展示「春が来た」「部活しよう！」
- ・先生方用の「図書だより」を作成、配布。
- ・新年度の書類（読書カード・原稿依頼書・図書委員の仕事のしおり）を作成。



図書だよりを発行するにあたり、簡単なマニュアルを作成した。分かりやすいように書き方の例をつけた。

## 5月

- ・企画展示「本屋大賞受賞作品紹介」「中学生の勉強法」
- ・市費選書開始 課題図書購入

## 6月

- ・企画展示「ハリー・ポッター特集」
- ・市費選書・受入れ 国語の教科書掲載本を購入



国語の教科書に紹介された本が分かるように、しおりを作成し本に挟んだ。  
また、教科書掲載本ファイルを作成した。

## 7～8月

- ・企画展示「夏が来た!」「読書感想文コーナー」
- ・新刊購入の際に参考にするため、先生方と生徒にリクエスト用紙を配布した。
- ・夏休み特別貸出実施（7月8日から貸出開始 1人6冊まで）
- ・見出し作成、書架整理を行った。



知識の棚に見出し板を作成した。  
見出しがあることによって、棚の中でなんとなく並んでいた本の居場所がきちんと整理され、目的の本を探しやすくなった。

## 9月

- ・図書の選書（寄贈分）
- ・企画展示「秋の本」「お月見」
- ・後期図書委員会に参加し、図書だより作成の担当等を決める。

## 10月

- ・ 図書の選書（寄贈分、市費分）
- ・ 企画展示「ドラマ化、映画化原作本特集」「ノーベル賞」



ノーベル賞発表の時期に合わせて、新聞の切り抜きと一緒に展示した。

## 11月

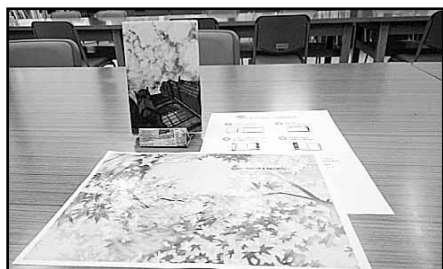
- ・ 新刊の装備、配架
- ・ 企画展示「時代小説コーナー」



11月の企画展示

- ・ 読書週間企画

読書週間に合わせて11月14日（月）から11月30日（木）まで図書室の本を利用した生徒にブックカバーをプレゼントした。



ブックカバーと見本。人気の柄は競争率が高かった。

## 12月

- ・ 企画展示「クリスマスの本」
- ・ おみくじの作成
- ・ 冬休み長期貸出実施  
（貸出期間12月12日～1月13日まで。  
貸出冊数1人6冊）



12月・1月の企画展示

### <図書委員の活動>

- ・季節の掲示物作成
- ・図書だより作成（6月号、7月号、12月号）
- ・本の貸出、返却受け、書架整理など

<図書委員作成の掲示物>



## 5 中央図書館からのサポート内容

- ・市図書費の選書アドバイス（本の分類確認）および発注処理
- ・学校図書館への貸出点数 37点/年

## 6 学校図書館利用実績

### （1）年間貸出点数

#### ① 個人貸出点数

（単位：点）

	1年	2年	3年	支援学級	総合計
年間合計	66	35	53	22	176
一人あたり	2.4	1.4	1.5	5.5	1.9
一人あたりの 昨年度比	114%	156%	38%	—	83%

※1人2冊1週間貸出し 長期休暇前の特別貸出は1人6冊まで。

#### ② 学級文庫貸出点数

（単位：点）

	1年 (1クラス)	2年 (1クラス)	3年 (2クラス)	支援学級	総合計
学年合計	37	50	61	40	188

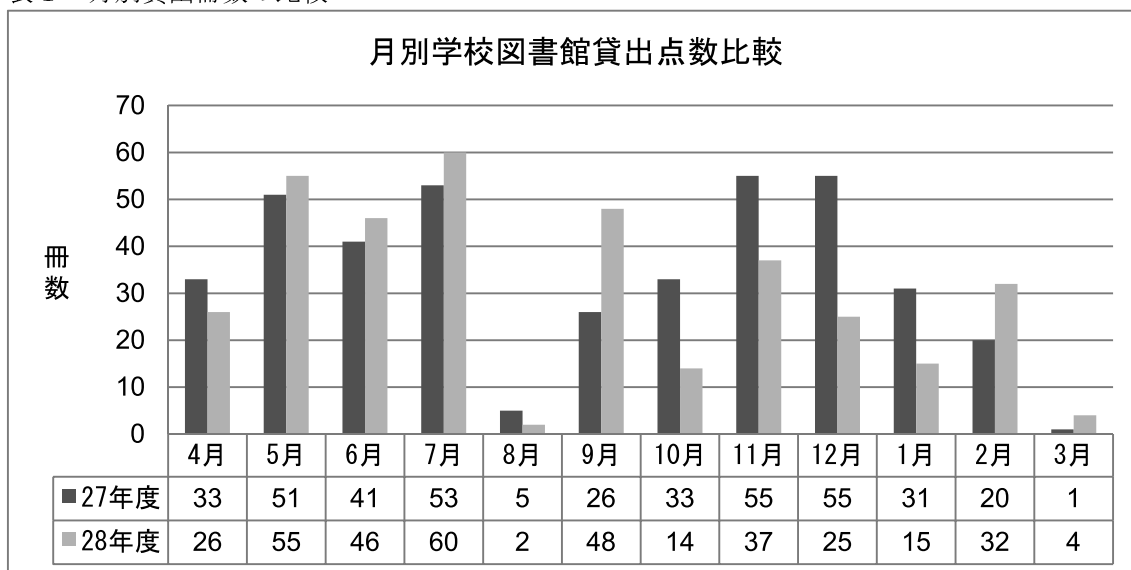
※毎月交換、1クラス10冊以内。

#### ③ 調べ学習等貸出点数

※中央図書館からの借用資料のみで対応

(2) 学校図書館利用実績比較

表1 月別貸出冊数の比較



全体的に図書室利用は高いが、貸出につながらないという傾向が見られた。しかし、新刊購入後や長期休暇前の特別貸出し時期、読書週間企画を実施した時期に個人貸出が増加する傾向があるので、読書の楽しさを積極的に伝えて行けるよう努力したい。

7 本年度の成果及び来年度に向けた課題

(1) 本年度の成果

- 3-1 生徒が手に取りやすい知識（主に0類、1類、4類）の図書を中心にグリーンラベルへの統一を行った。
- 3-2 本の貸出方法や、利用マナーの案内は年度初めに全生徒に配布した。また、書架に見出しを作成したことで本の置き場所が明確になり、生徒たちが迷わず探し出すことが出来るようになった。
- 3-3 先生方へ年度初めに学校図書館支援員ができる授業支援についてまとめた図書だよりを作成、周知したことで、授業での依頼が増え、学校図書館利用が増加した。
- 3-4 図書委員会と連携して図書だよりの発行（年3回）や掲示物の作成など生徒達の居心地の良い場を提供出来るよう心がけた。

(2) 来年度に向けた課題

- 4-1 来年度も引き続き、図書ラベルの見直し等を行う必要がある。
- 4-2 生徒達の前で分類などについての説明をする機会が無かったので、背ラベルの意味を理解していない生徒が多かった。全校生に図書館オリエンテーションをすべきである。また、より分かりやすい分類のサインを考えていきたい。
- 4-3 先生方への図書だよりを配布することはできたが、図書資料の依頼などは少なかった。図書室という場所を利用した授業は積極的に行っているため図書資料を使用してもらうためのアプローチを考えていく必要がある。
- 4-4 毎年読書カードを配布し、多読賞を発表していることから本を読む習慣はついていると思われる。図書室に来て学習する生徒、本を読みに来る生徒は多いが図書の貸出に反映されていない傾向がある。幅広い本に興味を持ってもらえるような本の紹介や、展示の方法、楽しめる企画の実施など生徒へのアプローチを考えて行くとともに、気軽に図書室に来てくつろげる雰囲気を作る必要性を感じた。